

# 令和4年度 事業報告

社会福祉法人 浄蓮福祉会

植木保育園

□ 法人本部区分

(1) 理事会開催

開催日	審議事項	報告事項
令和4年6月12日	・ 令和3年度事業報告 ・ 令和3年度監事監査報告 ・ 令和3年度決算書類承認 ・ 令和3年度財産目録承認 ・ 給与規定改定について ・ こども園移行・定員について ・ 定時評議員会の招集について	・ 職務執行状況
令和4年9月11日	・ 理事長退任について ・ 後任理事候補について ・ 評議員会の招集について	
令和4年10月1日	・ 理事長選任について	・ 評議員会報告
令和4年11月9日	・ 物品購入について ・ ICT化に係る費用について ・ 旅費支給規程の改正について ・ 認定こども園の名称について	
令和5年1月30日	・ 指導監査報告について ・ 大規模改修調査について	・ 職務執行状況
令和5年3月15日	・ 令和4年度補正予算について ・ 令和5年度人事について ・ 令和5年度事業計画について ・ 令和5年度期首予算について	

(2) 評議員会開催

令和4年6月26日	・ 令和3年度事業報告 ・ 令和3年度監事監査報告 ・ 令和3年度決算書類・財産目録承認	
令和4年10月1日	・ 理事長等退任に伴う理事・監事の選任について	

(3) 監事監査実施 令和4年6月4日

(4) 指導監査の結果 (令和3年度事業に係る監査の結果)

令和4年12月16日

- 児童処遇  
・ 与薬依頼書はボールペンで記入すること  
・ 午睡のチェック表の見直し。(特に0歳児のチェック時間を5分、1.2歳児は10分間隔が望ましい)  
・ 園庭遊具の地面の固定金具がむき出しのため、早急に対応すること
- 施設運営  
・ 園のしおりの保育所開所時間に相違があるため修正すること  
・ 苦情解決要綱の作成の有無が不明である  
・ 特定教育・保育施設の設置者の義務の変更届出が未提出(理事長変更分)  
・ 労働者の福祉に関する法律の改正を踏まえて、育児・介護休業等に関する規定の改正を行うこと  
(出生時育児休業、育児休業の分割取得、1歳児以降に育児休業期間を延長する場合の休業開始日の柔軟化、1歳以降の育児休業の再取得、育児・介護休暇等に関する規定)
- 保育所経理  
・ 決算承認の理事会は、定時評議員会開催の2週間前の日より前に開催すること  
・ 会計処理に使用する勘定科目は次の通りにすること  
(運営費収入…資金収支計算書では委託費収入、事業活動計算書では委託費収益とする)

こと、国及び地方公共団体から交付される補助金収入…資金収支計算書では補助金事業収入（公費）、事業活動計算書では補助金事業収入（公費）とする。  
利用者から徴収する延長保育料…資金収支計算書では補助金事業収入（一般、事業活動計算書では補助金事業収益（一般）とすること）

□ 施設区分

(1) 職員配置

職員数 23名

園長1 主任保育士1 副主任保育士1 保育士15（内7名は非常勤）

栄養士1 調理員2（内1名非常勤） 事務員1 保育補助1

(2) 入所児童数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
令和4年 4月1日	( 0 ) 3名	( 0 ) 18名	( 0 ) 14名	( 0 ) 16名	( 0 ) 17名	( 0 ) 20名	( 0 ) 88名
5月1日	( 0 ) 3名	( 0 ) 18名	( 0 ) 14名	( 0 ) 16名	( 0 ) 16名	( 0 ) 20名	( 0 ) 87名
6月1日	( 0 ) 3名	( 0 ) 18名	( 0 ) 14名	( 0 ) 16名	( 0 ) 16名	( 0 ) 19名	( 0 ) 86名
7月1日	( 0 ) 3名	( 0 ) 18名	( 0 ) 13名	( 0 ) 16名	( 0 ) 16名	( 0 ) 19名	( 0 ) 85名
8月1日	( 0 ) 3名	( 0 ) 18名	( 0 ) 13名	( 0 ) 16名	( 0 ) 16名	( 0 ) 18名	( 0 ) 84名
9月1日	( 0 ) 4名	( 0 ) 18名	( 0 ) 13名	( 0 ) 16名	( 0 ) 16名	( 0 ) 18名	( 0 ) 85名
10月1日	( 0 ) 5名	( 0 ) 18名	( 0 ) 13名	( 0 ) 16名	( 0 ) 16名	( 0 ) 18名	( 0 ) 86名
11月1日	( 0 ) 5名	( 0 ) 18名	( 0 ) 13名	( 0 ) 16名	( 0 ) 16名	( 0 ) 18名	( 0 ) 86名
12月1日	( 0 ) 5名	( 0 ) 18名	( 0 ) 13名	( 0 ) 16名	( 0 ) 16名	( 0 ) 18名	( 0 ) 86名
令和5年 1月1日	( 0 ) 5名	( 0 ) 18名	( 0 ) 13名	( 0 ) 16名	( 0 ) 16名	( 0 ) 18名	( 0 ) 86名
2月1日	( 0 ) 5名	( 0 ) 18名	( 0 ) 13名	( 0 ) 16名	( 0 ) 16名	( 0 ) 18名	( 0 ) 86名
3月1日	( 0 ) 5名	( 1 ) 18名	( 1 ) 13名	( 0 ) 16名	( 0 ) 15名	( 0 ) 18名	( 2 ) 85名
計	( 0 ) 49名	( 1 ) 216名	( 1 ) 159名	( 0 ) 192名	( 0 ) 192名	( 0 ) 222名	( 2 ) 1030名

( ) 嘉麻市より受入数

(3) 補助金等

令和4年度 補助金

直方市保育環境改善対策事業

(新型コロナウイルス感染症対策支援)

500,000円

直方市（延長保育事業特例措置分）

新型コロナウイルス感染拡大防止対策事業

250,000円

直方市延長保育促進事業

300,000円

直方市障害児保育事業	2,066,400円
直方市多子世帯給食費補助金	162,000円
直方市保育所等物価高騰対策費補助金	275,966円
直方市給食副食費無償化補助金	1,066,500円
直方市保育所等給食支援費補助金	590,700円
直方市ICT化推進事業費補助金	750,000円
直方市保育体制強化事業補助金	1,195,644円

(4) 施設及び設備の整備実績  
(備品等)

・給食室スチームコンベクションオーブン	1台	985,289円
・ガステーブル	1台	114,711円
・タブレット型ノートパソコン	6台	907,500円
・ノートパソコン	3台	581,900円
・災害時仮設テント	1台	185,900円

(工事等)

・LED照明工事	1,105,060円
・砂場日よけ設置工事	382,800円
・エアコン入替工事	832,700円
・ファイルサーバー構築	368,500円

(5) 職員会議及び職員研修等の実績

- ・職員会議 月1回
- ・園内研修 講師を招き「保育ソーシャルワーク」、「上手な褒め方・しかり方」について学ぶ年齢別に研修
- ・キャリアアップ研修 5名受講

(6) 要望・苦情等に関する報告

意見・要望等受付担当者	主任保育士	鬼武	久江
意見・要望等の相談解決責任者	園長	池田	勇
第三者委員		栗山	一
第三者委員		宇野	紀子

- ・令和4年度の苦情解決の状況について  
苦情、第三者委員への申し立てはなかった。

(7) 事業報告

1.入所児童数について

保育士不足、少子化により、受入こども数は減少している。

2.研修会について

島崎創造保育研究会の保育研修に取り組んでいる。令和4年度については福岡県保育協会主催の研修会・直方市保育協会の主催する研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の見地からオンラインでの開催もしくは中止となった。

3.安全管理について

消火・避難訓練 毎月1回実施  
水害、地震、不審者防犯訓練 1回ずつ実施

4.健康管理について

在園児	内科健診・歯科検診	年2回実施
	尿検査	年2回実施
職員	健康診断	年1回
	給食・乳児担当職員検便	月1回

5.地域交流について

例年、老健施設や介護施設デイサービス等の老人福祉施設入所者との交流事業を行っているが、新型コロナウイルス感染拡大防止の見地から、令和4年度についても、中止となった。子ども音楽祭(市内保育園輪番)も主催者側の判断で中止となった。

タケノコ掘りも中止となったが、地元の方からタケノコを頂き、5才児クラスが皮をむき、火を起こして茹でる作業を行った。

梅の収穫は4才児クラスと5才児クラスが神社で行わせて頂き、収穫後に梅干しやシロップを作ることを行った。

小中学校や地域と合同で行っている植木校区文化祭は、ステージのみの演目となったが、4才児と5才児クラスの希望者が参加しフープや踊りを披露した。

## 6.事業報告総括

### 令和4年度の自己評価まとめ・反省

子どもに関わる項目から、「ありがとう」「ごめんなさい」などの生活に必要な言葉を自然に使い、心のこもった挨拶を意識し、子どものモデルとなるよう保育士自らが行っています。子どもの生活と健全な発達を願い、子ども人権を意識し、おもらしをした時に子どもの心を傷つけないように配慮している職員が多いことが判ります。

安全面に関しては、子どもの病気の把握と体調管理に注意をはらいながら、アレルギーの対応は、職員会議での検討や日常的な確認が行われています。園外活動を積極的に行っているため、通常の遊びや移動の際に、交通ルールやマナーなどの習慣が身につくようにしていることがチェックシートから判断できます。

また、令和4年度は新型コロナウイルスの影響を大きく受け、園児や職員含め濃厚接触者となる人数が非常に多く、継続的な換気や手洗い、うがいなどが行いました。コロナ禍で、直方市保育協会や福岡県保育協会等が実施する研修や地域との交流の機会が少なくなった状況が評価に表れています。

障がい児や気になる子どもが年々増加し、個別対応が必要となる子どもの人数が増えています。職員全員で情報を共有し検討する機会や時間を増やすことが課題となっています。

保育所保育指針等を園での生活や保育全般に反映させるため、小学校との接続を重視した年間教育保育計画や各クラスの指導案を検討し直しました。次年度に新しい計画や指導案にそって保育を行っていきます。

令和5年度は、こども園へ移行します。地域の子育て拠点として、未就学児をもつ保護者の相談の受け付けるように計画しています。地域との良好な関係を持ちながら、在園児はじめ地域の子育てを支える園となるように努力していきます。